

長野県内におけるササ開花情報 (3)

～2000 年～

小山泰弘 (長野県林業総合センター)

Yasuhiro Koyama: Information of *Sasa* flowering in Nagano Prefecture (3) ～Record of 2000～

はじめに

長野県の 2000 年におけるササ開花情報について、これまで (小山 1999, 2000) に引き続いてとりまとめたので報告する。

2000 年におけるササの開花記録

2000 年 3 月から 12 月にかけて、県内の自然観察指導員や森林インストラクター等に開花状況を照会したところ、表-1 に示した 10 件の情報が寄せられた。ササは、分類が困難なため種の特定に至っていないものも多

く含まれるが、情報提供のあったものについてとりまとめた。

今年度も、あたり一面見渡す限りに花が咲くという数百 ha にも達するような大面積の全面開花は、観察されなかった。しかし、真田町菅平や東部町湯ノ丸、麻績村など昨年開花を確認した場所の隣接地からの報告が多く、麻績村聖山西側で確認した小面積の開花地は、昨年度の開花箇所隣接していた。

また、本年の開花箇所のうち、武石村、大岡村などで結実が確認できた。

表-1 2000年のササ開花記録(2000年1～12月)

種別	市町村名	開花位置	標高	開花面積	開花状況	結実状況	備考	情報提供者
クマイザサ	小県郡 真田町	菅平	1500				去年より目立つ	望月明子氏 (指導員)
クマイザサ	小県郡 真田町	菅平	各地	点在	部分一 斉開花	不明		毛受俊郎氏 (森林イントラ)
不明	小県郡 東部町	湯ノ丸高原	1850	広範囲	部分一 斉開花	不明	地蔵峠～池ノ平へ向かう林道沿いの登山道脇で広範囲に開花している	毛受俊郎氏 (森林イントラ)
不明	小県郡 和田村	和田峠から三峰山への登山道とピーナスラインの間	1750	比較的広い	部分一 斉開花	不明		三村宏明氏 (指導員)
クマイザサ	小県郡 武石村	横山(美ヶ原牧場)	1850	10×10 m	部分一 斉開花	結実	10×10m 1カ所、他に一部個体開花が小面積で数カ所	小山桂子氏 (指導員)
クマイザサ	小県郡 武石村	美ヶ原	1800				美ヶ原、思い出の丘から天狗の路地駐車場の間に花と枯れているのが目に付く	百瀬ちゆき氏 (指導員)
クマイザサ	東筑摩郡 麻績村	聖山西、昨年大岡村～麻績村にかけて1haが開花した場所に隣接	1320	20×20 m	部分一 斉開花	なし	昨年開花した箇所は枯死、再生していなかったが、間伐作業に伴う地ごしらえが行われており単純に枯死によるものかどうかは不明。今回も開花は複数回発生。	
クマイザサ	東筑摩郡 麻績村	聖高原別荘地内	970	5×5 m	部分一 斉開花	結実	聖湖西のカラマツ林下に小面積で開花。近くに昨年開花したササ地が認められる	
クマイザサ	東筑摩郡 大岡村	聖が岡キャンプ場東	1150	2×2 m	一部個 体開花	結実	果道脇に開花個体が点在	
クマイザサ	上水内郡 信州新町	関長31号スギ次代検定林内	600	1×10 m	一部個 体開花	極少数 結実	次代検定林3ブロック内、ほぼ列状に開花個体が分布(開花は1999年に発生)	

参考:情報提供者中(指導員)は自然観察指導員、(森林イントラ)は森林インストラクターを示す。

表-2 ササ開花地における追跡調査結果

種類	開花場所	開花結実状況	開花年	追跡調査年	結果	概要
クマイザサ	山形村 清水	25㎡の部分一斉開花。結実あり	1998	1999	枯死	面積が小さく、周りのササが侵入していた。
クマイザサ	山形村 清水高原	400㎡の部分一斉開花結実	1998	1999	枯死	枯死していた。実生がわずかながら認められた。
チシマザサ	長野市 北郷	15㎡の部分一斉開花、わずかに結実	1998	1999	部分枯死	完全には枯死せず、まだら模様で再生していた。
チマキザサ	高山村 毛無峠	広範囲に開花したが結実せず	1998	1999	再生	桿の再生が認められた。
チマキザサ	山ノ内町 横手山	50㎡の部分一斉開花、結実せず	1998	1999	再生	桿の再生が認められた。
クマイザサ	麻績村	60㎡の部分一斉開花	1999	2000	枯死	面積が小さく、周りのササが侵入していた
クマイザサ	麻績村・ 大岡村	1haの部分一斉開花、結実せず2回以上開花	1999	2000	枯死と推定	枯死したと推定できるが、間伐作業に伴う地ごしらえが区域面積の1/2で行われており単純には判断できなかった。
クマイザサ	大岡村 豊が岡	20㎡の部分開花2カ所(一部個体は結実)	1999	2000	再生	桿の再生が認められた。
クマイザサ	大岡村た かはら山	50㎡の部分一斉開花、結実せず	1999	2000	再生	桿の再生が認められた。
クマイザサ	長野市 北郷	90㎡の部分一斉開花、結実せず3回開花	1999	2000	枯死	長野県自然保護研究所敷地内で発生。岡所尾岡雅章氏より情報提供。

開花地の追跡調査

ササは一般に開花後枯死するとされているが、ササが開花したにもかかわらず枯死しなかったという話もある。そこで、これまで確認された開花箇所のうちいくつかについて、開花翌年以降の枯死状況を追跡した(表-2)。その結果、開花後に結実しなかった場所のいくつかでは、地下茎まで枯死することではなく、開花翌年に開花桿の根元から新たな地上部が発生してきたケースが認められた。なおこの場合でも、開花が同一年に数回にわたってだらだらと発生した大岡村及び長野市では地下茎まで枯死していることが認められた。

一方、開花後に結実した場合は、地下茎まで枯死したことが確認されたが、結実がごく少数の個体で認められた長野市北郷のチシマ

ザサ小面積開花においては、開花翌年にわずかではあるが新たな桿の再生が確認され、地下茎が部分的に生き残っていたと判断できた。

以上のことから、1回の開花だけでは枯死に至りにくいと考えられた。

おわりに

開花情報の提供をいただいた小山桂子、三村宏司、望月明子、百瀬ちゆき、毛受俊郎の各氏と、開花後の枯死状況について情報提供いただいた尾岡雅章氏に感謝申し上げます。

引用文献

- 小山泰弘(1999) 長野県におけるササ開花情報 長野県植物研究会誌 32: 60-63.
 小山泰弘(2000) 長野県におけるササ開花情報 長野県植物研究会誌 33: 27-30.